

博士前期課程（修士） / 共通科目 / 共通科目 科目コード：200005 ケアと哲学 Care and Philosophy					
担当教員	浅見 洋 吉田 和枝 高山 成子 牧野 智恵 西村 真実子				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	臨床哲学 医療倫理 看護倫理 医療者・患者関係 ケアの倫理学 インフォームド・コンセント 医療資源の配分 リスクマネジメント				
学習目的・目標	ケアの哲学、臨床倫理の原則を踏まえて倫理的な問題解決する方法を教授する。特に患者の権利等を理解した上で、健康と病について看護の視点より評価し、倫理的葛藤の存在を認識できる能力を養う。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	医療と関わる倫理（臨床哲学）の歴史			講義	浅見
2	医療倫理・看護倫理問題の合理的な考え方			講義	浅見
3	医療倫理・看護倫理の原則と重要概念			講義	浅見
4	看護者と患者関係の倫理			講義	浅見
5	看護ケアの倫理学と事例検討 1			講義と事例検討	浅見・吉田
6	看護における守秘義務・個人情報保護と事例検討 2			講義と事例検討	浅見・吉田
7	看護におけるインフォームド・コンセントと事例検討 3			講義と事例検討	浅見・吉田
8	看護におけるリスクマネジメントの倫理と事例検討 4			講義と事例検討	浅見・吉田
9	生殖医療における倫理問題（体外受精、不妊治療、胎児診断）			講義と事例検討	吉田
10	老年看護実践における倫理問題（エイジズム、成年後見制度）			講義と事例検討	高山
11	がん看護実践における倫理問題（がん治療・看護における意思決定）			講義と事例検討	牧野
12	小児看護実践における倫理的問題（小児治療における親の意志決定、虐待）			講義と事例検討	西村
13	終末期医療における倫理問題（リビングウィル、事前指定）			講義と事例検討	浅見
14	看護の臨床研究における倫理			講義	浅見
15	総括と討議 ＊学生の報告事例によって倫理問題の具体的なテーマは変化する。			講義と討議	浅見・吉田
教科書	プリント配布 事例検討においては主に学生の報告をテキストとする。				
参考図書等	Sata T. Fry, Robert M.Veatch,Case Studies in Nursing & Ethics. その他：随時紹介				
評価指標	レポートに、受講時の発表、討議について加味して評価する。				
関連科目	コンサルテーション論 看護管理特論 看護デザイン特論Ⅱ 看護デザイン演習ⅠA 看護デザイン演習ⅠB				
教員から学生へのメッセージ	受講学生と話し合いながら、シラバスの内容を変更する場合があります。				